

名古屋・静岡地区合同勉強会 R4年度 1月 定例会議事録

1.日 時：2023年1月27日（金）18時00分～19時00分

2.場 所：各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)

3.出席者：西川智、高橋孝一、真鍋明宏、宮角良介、清水亮介、鹿志村聡士、山下昌宏、大竹秀昇、小沢裕治、山下忠、加藤恒雄、永野海、神谷旭、近藤寿史、近藤斎、高橋義久、松下哲明（敬称略・順不同）

4.議事内容：

OITO VISION～BCP体制、コーポレートガバナンスを中心として～ 真鍋明宏

小糸製作所様を事例とし、近年の被害事例を踏まえた事前対策の内容、取引先との協業によるBC体制の構築を紹介した。



(1) 質疑応答、意見交換（一部のみ記載）

- ・ 講義内容にあった協力企業（サプライチェーン先）に対し、勉強会参加者が研修を行なった旨を共有した。また、災害時の融資（保証）、サプライチェーン先への BCP 対応に関する調査・研究や代替生産対応について情報共有が行われた。
- ・ 災害対策の中にサイバー攻撃を含めているのか。IT—BCP と災害 BCP は共同して作成するべきと感じている。  
→サイバー攻撃は情報漏洩リスクや事業停止リスクとして認識している。災害とは別枠で検討しており、各種対策（全従業員に対する e-learning など）も行っている。情報システム部門が IT-BCP を対応しているが、PJ を立ち上げて全社一括で BCP を検討するのが一番望ましいと考える。
- ・ 安否確認システムの訓練は良いことである。  
→定期的にやっている。実際には連絡が取れない人への対策が重要である。

5.次回開催予定：

日 時：2月15開催（関西勉強会との合同）

場 所：Zoom 予定

以 上